

家庭保育にご協力頂いている保護者の皆様へ

日頃より保育園運営にご理解ご協力を頂き、ありがとうございます。

鈴鹿市より「新型コロナウイルス感染拡大防止のための登園自粛による家庭保育へのご協力のお願い」が出されて一ヶ月になります。その間、中期・長期に渡って家庭保育にご協力下さっているご家庭には心より感謝を申し上げます。また、そういったご家庭に向けて、家庭保育の一助になればとの思いから、「家庭保育支援チーム」を再度編成しました。今回は前回4月の時のメンバーから総入れ替えて編成しました。保育士それぞれの個性が出ている作品に仕上がっているかと思しますので、是非、ご活用頂ければと思います。

4月のときのメンバーも、今回のメンバーも準備の段階から一体感をもって取り組んでくれました。集まって作業を進めていく中でも、たくさんのアイデアが出たり、笑い声が飛び交ったりと活気に満ち溢れていました。メンバー構成は乳児クラス、幼児クラス、支援センターから満遍なく出てきてもらっていたのですが、メンバーに入っていなかった職員も時間を見つけて応援に入ってくれたり、普段の保育の中では関わりの薄かった職員同士が協力し合っていく中で、きっと職員同士も各々が知らなかったお互いの一面も垣間見ることができたのかもしれない。当初、この企画を考えたときは、「中期・長期に渡って家庭保育にご協力下さっているご家庭に、保育園として何かできないだろうか」という思いからでした。今も当然、その思いを強く持って取り組んでいるのですが、この2回の取り組みにおける保育園の職員たちの姿を見ていると、この企画によって自分達も元気をもらっているのだということに気付かされました。「優しさはいずれ自分に返ってくる」、そういうことなのかなと感じました。

新型コロナウイルスの感染拡大は一時期のピークを越えたように見えるとはいえ、依然としてその感染力には警戒を続けていかななくてはなりません。保育園でも引き続き、感染には十分気を付けて保育をしまります。登園自粛が難しいご家庭においては、引き続き保育の質を維持しながら保育を継続していきますので、どうぞ安心してお子さんを登園させて下さい。そして登園自粛にご協力下さっているご家庭においても、どうぞご無理をなさらずに、大変な時は保育園を頼って下さい。「この日だけ」「この日の半日だけ」「数時間だけでも」そんなお声にも柔軟に対応させていただきます。

以前と全く同じ日常を取り戻すことは難しいのかもしれませんが、一日でも早く、子どもたち全員が、安心して元気に登園できる日がくることを願っています。

令和2年5月15日(金)
ながさわ保育園
園長 中瀬弦偉